

TIME

提供: ExcelPedia

概要

指定された時、分、秒に対応するシリアル値を返すワークシート関数です。表示結果はセルの書式設定の表示形式の設定によって異なり、標準/G、時刻形式の場合は時刻形式で表示されます。

書式

TIME(時,分,秒)

引数の説明

時

時をあらわす数値を指定します。0~23の範囲の数値が有効です。24を超える数値を指定した場合には24で割った剰余の数値が有効になります。

分

0~59の数値を指定します。60を超えた数値を指定した場合、60を越える部分は時に繰り上げて計算されます。

秒

1~59の範囲の数値を指定します。60を越える部分は分に繰り上げて計算されます。

使用例

TIME関数使用例

	時 A	分 B	秒 C	計算式 D	計算結果 E
1	22	59	59	=TIME(A2,B2,C2)	22:59:59
2	22	59	61	=TIME(A3,B3,C3)	23:00:01

3	22	61	59	=TIME(A4,B4,C4)	23:01:59
4					
5	22	119	61	=TIME(A5,B5,C5)	0:00:01
6					

表のセル部分のみコピーし、ワークシートに貼り付けて、試すことが出来ます。
Internet Explorer 普通に貼り付け / FireFox [形式を選択して貼り付け]-[テキスト]

解説

TIME関数で生成したシリアル値は、直接セルに時刻入力した場合に生成されるシリアル値と必ずしも一致しません。これは時刻を小数近似値で計算していることから生じる誤差で、セルの表示はほぼ問題が生じませんが、正確な比較を行おうとする時に問題が発生することがあります。

関連項目

関数/日付と時刻の関数

「<http://localhost/mwiki/index.php/TIME>」より作成

カテゴリ: 関数 | 関数/日付と時刻の関数

- このページの最終更新は 2013年11月11日 (月) 11:17 に行われました。